南の海へ行きます

萩原朔太郎

青空文庫

ながい疾患のいたみも消えさり、
淺間の山の雪も消え、
みんなお客さまたちは都におかへり、
酒はせんすゐにふきあげ、
ちらちら緋鯉もおよぎそめしが、
私はひとりぼつちとなり、
なにか知らねど泣きたくなり、
せんちめんたるの夕ぐれとなり、
しくしくとものをおもへば、
仲よしの友だちうちつれきたり、
卵のごときもの、
菓子のごときもの、
林檎のごときものを捧げてまくらべにもたらせり、
ああ、けれども私はさびしく、
いまはひとりで旅に行く行く、
ながい病氣の巣からはなれて、

つばきの花咲く南の島へと行かねばならぬ、
つばめのやうに快活に、
とんでゆく、とんでゆく。

けふ利根川のほとりに來てみれば、
しだいに春のめぐみを感じ、
雪わり草のふくめるやうに、
つちはうららにもえあがり、
西も東も雪とけながれ、
めんめんとして山峽（はざま）にながれ、
光り光れる山頂（いただき）さへ、
ひろごる桑の畑さへ、
さびしい病人の涙をさそふよ、
しみじみとおもへば、
故郷（ふるさと）の冬空はれ、寂しくて寂しくてたへざれば、
いまはいつさいのものと別れをつげ、
あしたはれいの背廣を着、

いつもの輕い靴をはき、
まだ見も知らぬ南の海へあそばうよ、
その心もちも快活に、
みなさんたちに別れをつげ、
きさらぎなかばのかしまだち、
小鳥ぴよぴよと空に鳴きつれ。

――二月一日――

青空文庫情報

底本：「萩原朔太郎全集　第三巻」筑摩書房
　1977（昭和52）年5月30日初版第1刷発行
　1986（昭和62）年12月10日補訂版第1刷発行
入力：kompass
校正：小林繁雄
2011年6月25日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

南の海へ行きます

萩原朔太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/